

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。
ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2025-2026 IT ストラテジスト「専門知識＋午後問題」の重点対策 第1版 第1刷（電子書籍版含む）

No	訂正箇所	誤	正
1	P.71 問 1-18 解説 下から5~4行目	ウ：GEIT（Governance of Enterprise Information Technology）は、（中略）価値を創造する企業活動を IT 含めた組織全体の仕組みです。	ウ：GEIT（Governance of Enterprise Information Technology）は、（中略） ビジネス価値とリスク管理の最大化を図る企業活動 又は仕組みです。
2	P.79 表 2-2-3 下の注釈	（前略）ROI；Return Of Investment	（前略）ROI；Return On Investment
3	P.88 問 2-8 解説 3行目	内部利益率法では、評価対象の投資案件における（後略）	内部 収 益率法では、評価対象の投資案件における（後略）
4	P.116 問 3-5 解説 下から2行目	エ：ファブレス企業へ生産を委託することの説明です。	エ：ファブレス企業 の外部委託生産 の説明です。
5	P.139 問 3-17 解説 下から3行目	イ：リベートオファーの説明です。	イ： バリッドオファー（バリッドオファー） の説明です。

6	P.141 問 3-19 解説 3 行目	(前略) 製品のレベルを基準にした顧客価値で, 基本レベル, 第 1 レベル, 第 3 レベル (後略)	(前略) 製品のレベルを基準にした顧客価値で, 基本レベル, 第 2 レベル , 第 3 レベル (後略)												
7	P.156 小見出し	マルチサイトプラットフォーム	マルチ サイト プラットフォーム												
8	P.157 表 2-3-29	<p>表 2-3-29 OKR の構成要素と特徴</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>構成要素</th> <th>特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・四半期程度の短期間で達成できるものにします。 ・定性的でかまいません (定量的にしません)。 ・個人や組織のモチベーションが高まるものにします。 </td> </tr> <tr> <td>主な結果</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・2~5 個程度を設定します。 ・定量的に測定できるものにします。 ・ストレッチしたゴールを設定します。 ・6~7 割の達成度で成功とします。 </td> </tr> </tbody> </table>	構成要素	特徴	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期程度の短期間で達成できるものにします。 ・定性的でかまいません (定量的にしません)。 ・個人や組織のモチベーションが高まるものにします。 	主な結果	<ul style="list-style-type: none"> ・2~5 個程度を設定します。 ・定量的に測定できるものにします。 ・ストレッチしたゴールを設定します。 ・6~7 割の達成度で成功とします。 	<p>表 2-3-29 OKR の構成要素と特徴</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>構成要素</th> <th>特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・四半期程度の短期間で達成できるものにします。 ・定性的でかまいません (定量的にしません)。 ・個人や組織のモチベーションが高まるものにします。 ・ストレッチしたゴールを設定します。 </td> </tr> <tr> <td>主な結果</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・2~5 個程度を設定します。 ・定量的に測定できるものにします。 ・6~7 割の達成度で成功とします。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>※「ストレッチしたゴール設定」は、「結果」ではなく「目標」となる。</p>	構成要素	特徴	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期程度の短期間で達成できるものにします。 ・定性的でかまいません (定量的にしません)。 ・個人や組織のモチベーションが高まるものにします。 ・ストレッチしたゴールを設定します。 	主な結果	<ul style="list-style-type: none"> ・2~5 個程度を設定します。 ・定量的に測定できるものにします。 ・6~7 割の達成度で成功とします。
構成要素	特徴														
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期程度の短期間で達成できるものにします。 ・定性的でかまいません (定量的にしません)。 ・個人や組織のモチベーションが高まるものにします。 														
主な結果	<ul style="list-style-type: none"> ・2~5 個程度を設定します。 ・定量的に測定できるものにします。 ・ストレッチしたゴールを設定します。 ・6~7 割の達成度で成功とします。 														
構成要素	特徴														
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期程度の短期間で達成できるものにします。 ・定性的でかまいません (定量的にしません)。 ・個人や組織のモチベーションが高まるものにします。 ・ストレッチしたゴールを設定します。 														
主な結果	<ul style="list-style-type: none"> ・2~5 個程度を設定します。 ・定量的に測定できるものにします。 ・6~7 割の達成度で成功とします。 														
9	P.173 問 4-3 解説 下から 3~2 行目	ウ: “死の谷” の説明です。 エ: “ダーウィンの海” の説明です。	ウ: “ ダーウィンの海 ” の説明です。 エ: “ 死の谷 ” の説明です。												
10	P.222 問 6-4 解説 3~6 行目	ウ: 衛生要因は, 仕事の満足に関わる要因です。「達成」, 「責任」, 「昇進」などが該当します。(後略) エ: 動機づけ要因は, 仕事の不満足を引き起こさせる要因です。「給与」, 「作業環境」, 「対人関係」などが該当します。(後略)	ウ: 衛生要因は, 仕事の不満足を引き起こさせる要因です。「給与」, 「作業環境」, 「対人関係」 などが該当します。(後略) エ: 動機づけ要因は, 仕事の満足に関わる要因です。「達成」, 「責任」, 「昇進」 などが該当します。(後略)												
11	P.236 問 6-13 解説 6~8 行目	したがって, (ア) が正解です。 イ~エ: いずれもバスタブ曲線の特徴ではありません。 解答ーア	故障率がほぼ一定の期間は, 偶発故障期間と呼ばれます。 したがって, (イ) が正解です。 ア: バスタブ曲線全体の特徴です。 ウ: 初期故障期間の特徴です。 エ: バスタブ曲線の特徴ではありません。 解答ーイ												
12	P.553 表 4-1-1 6 項目目	<u>固定的に記述できる部分は, 受験前に準備しておきます。</u> 詳細は P. ●●●●~●●●●をご覧ください。	<u>固定的に記述できる部分は, 受験前に準備しておきます。</u> 詳細は P.558~559 をご覧ください。												